

第3次川崎町子ども読書活動推進計画の概要



本でつながる！ 本でひろがる！ 「第3次計画」がスタート！

読書は、「心の栄養素であり、頭の栄養素でもある。」とされています。
家庭・地域・学校等・図書館が連携して、未来を担う子どもたちの「笑顔」を増やすため、
読書環境の整備を推進します。

子どもが読書に親しむ機会の提供

- ◆「ブックスタート事業」を継続し、本に触れるきっかけづくりとなる活動・取り組みを支援し、情報を提供します。
- ◆読み聞かせ等を通して、家庭で本に親しむことや、家族で一緒に読書することの大切さについて啓発活動を行います。

家庭



地域



ボランティア・学校・図書館との連携の強化

- ◆工作教室や人形劇等のイベントを実施し読書に親しむ機会を支援します。
- ◆読書ボランティア・学校等・図書館とのパートナーシップによる取り組みを支援します。

連携・協働



子どもの読書環境を推進するための読書環境の整備と充実

- ◆優良図書、推薦図書を紹介し図書館情報の発信を促進します。
- ◆「団体貸出」による読書環境の整備に努め、職場体験や図書館見学等の受入を積極的に継続します。
- ◆学校図書館と連携を深め読書活動を推進します。

学校等



図書館



子どもの読書活動を推進するための啓発と広報の推進

- ◆発達段階に応じた図書の収集に努めます。
- ◆「おでかけ図書館」等、読書ボランティアと連携しお話し会の企画・運営に努めます。
- ◆パピルスだよりやホームページを活用し広報活動を推進します。

「子ども読書活動推進計画」に関する国・県・町の動向と社会情勢

◆国において

平成13（2001）年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、国は、推進法第8条第1項の規定に基づき平成14（2002）年8月に「第1次基本計画」を定めました。その後、平成20年、平成25年、平成30年にそれぞれ第2次～第4次基本計画が策定されました。

◆県において

福岡県では、平成16（2004）年に「福岡県子ども読書推進計画」を策定し、平成22年、平成28年と2度の改訂が行われました。

◆町において

川崎町では、平成25（2013）年に「第1次計画」、平成30（2018）年に「第2次計画」を策定し、令和5（2023）年3月をもち「第2次計画」の計画期間が終了することから、新たに「第3次計画」を策定しました。

◆社会情勢について

- ・令和2年度からの新型コロナウイルス感染拡大・・・ウイズコロナ・アフターコロナ時代に即した図書館運営が求められています。
- ・情報化社会の進展（GIGAスクール構想により、小中学校では、1人1台の端末整備）・・・情報機器を上手に取り入れます。
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の推進・・・本計画においても目標4（質の高い教育をみんなに）目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）をゴールとして子ども読書活動を持続的に推進します。

「第3次計画」の基本目標



◆目標Ⅰ：子どもが読書に親しむ機会の提供

家庭・地域・学校等を通じて、子どもの発達段階に応じた取り組みを推進し、楽しく読書に親しむ機会の提供を行ないます。

◆目標Ⅱ：子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備と充実

すべての子どもたちが読書の喜びや楽しさを味わうことができるよう図書館・ボランティア・学校等が協力し、図書資料の整備や補完に取り組みます。

◆目標Ⅲ：ボランティア・学校等・図書館との連携の強化

子ども読書に携わる関係者が、パートナーシップのもと、お互いを尊重しながら連携を深め、協働による読書活動の充実に取り組みます。

◆目標Ⅳ：子どもの読書活動を推進するための啓発と広報の推進

子どもや町民を対象として図書館まつり等のイベントを引き続き開催し、町民に広く啓発広報を行います。